



研究テーマ：中・高等学校と大学・社会をつなぐ『数学』の研究

研究者： 姫野 秀樹

HIMENO Hideki
(経営経済学部 教授)

【研究・開発の目的】

数学（科学・理系）に興味関心をもつ学生・中高校生の育成を図る。

【研究・開発のきっかけ】

理数教育の充実及び科学系人材の育成は喫緊の課題である。一方現状は、いわゆる数学嫌いや苦手意識が進路（文理）選択の要因のひとつだと言われる。これからの（文理融合）社会を担っていく有意な人材を育成するため、数学への興味関心を高めたい。

【研究・開発の概要】

中・高と大学・社会とを繋げる『数学』の教材を開発する

【研究・開発の特色】

中高で学ぶ数学の知識や技能が、大学・社会等での研究、技術開発、生活改善等にどのように活用されているのかを分かりやすく（ビジュアル化し）「面白く」理解させる教材

【今後の展開】

経営経済、工学、保健医療で活かされる“数学”の研究を進め、高校数学をベースとし、各單元ごとに「教材」を開発する。

【今後の課題】

開発した教材による中高校生への授業実践

【地域・企業へのメッセージ】

「面白い!」「好き!」が“学び”の原点です。
これからのDX社会を担う子どもたちに『数学の楽しさ』を届けていきたいと思ひます。
本学がもつ3学部の強みを活かすとともに地域等とも連携を密にし、生徒の学びへの興味関心を高め思考力や分析力等を向上させるSTEAM教育を実践していきたいです。